

公表日

令和7年12月20日

事業所名

こぼんはうすさくら川崎幸教室

保護者等数(児童数)

50名

回収数

47件(割合94%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	6		2	・活動を見学出来ていないため。スペースに対しての人数割りがどのような感じかわからない。	・保護者様の見学はいつでも可能であることを周知していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	40	2		5	・わからない。	・適切な配置となるように今後も取り組んでいきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40			7		・今後も教室内の配置を工夫しながら子どもたちの活動スペースの確保やバリアフリー等への配慮を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	41	3		3	・見学したことがないためわからない。	・これからも清潔で心地よく過ごせる環境になるように留意していきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	46		1			・子どもの特性を理解し、より専門的な支援になるよう努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	43	4				
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	46	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	44	1		2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	46	1		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	43	4			・色々なプログラムがあり、子供が楽しんでいる。 ・毎回プログラムを楽しみにしている。	・今後も子どもたちが様々な体験ができるように、プログラムの内容を検討し偏りがないようにしていきます。
保護者 への 説明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	10	25	・プログラムに交流がありそうなものはないかと思う。 ・近くの公園や外出の時にそういう機会があると思う。	・地域の子どもたちとの交流が積極的に行っていないのが現状です。どのような方法があるか検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45	1		1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	47					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	4	14	16	・研修会の参加はしたことはないが個別に相談して対応してもらっている。	・研修会等は実施できていない為、会社と相談していきます。個別の対応は引き続き丁寧に行なっていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	47				・活動や子どもの様子がわかりやすいよう にHUGの本日の様子に写真を載せてほしいです。	・一人ひとりのHUGに写真を載せることは人員や時間の関係で難しいですが、SNSや新聞で出来る限り様子をお伝えできるように努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	44	3			・丁寧に面談してもらっている。 ・送迎の際など様子を共有してもらっている。	・これからも定期的に面談や助言等の支援を行っていきます。いつでも相談できる雰囲気づくりに努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	45	2			・否定的なことを言われたことは一切ない。 ・いつも助かっている。	・今後も子どもたちや保護者様に寄り添い、共感的な支援ができるよう取り組んでいます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	17	22	・兄弟がいないが、きっと他の利用者さんへは支援されているのではないかと想像している。	・保護者様からのご意見をお聞きしながら、交流の機会について検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	39	3		5	・いつも助かっている。	・随時相談や申し入れを受け付けていることを周知します。その際には迅速に適切に対応できるよう、今後も心がけていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	47				・何かあると電話をもらえるので助かっている。	・これからも円滑にコミュニケーションをとりながら情報を共有し、共通理解につながるように心がけていきます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	46	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	44	2		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	41	1		5	・見たことはないと思う。 ・子どもの安心・安全を守るためのマニュアルについて、再度確認し、保護者様へも周知できるようにしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	47				・毎月様々な災害を想定して避難訓練を行っています。今後もいろいろな事態へ対応できるよう点検や確認を含めて備えています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	41	2		4	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	45			2	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	47				・若い男性の先生が、お兄さん的な存在になっていて話しをするのが楽しい様子がある。先生が見本であり、あこがれの存在であることが親としても嬉しい。 ・日々の対話や交流を大切にし、どの職員と関わっても安心して過ごせるように努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	45	2			・プログラムの内容や、利用者同士や職員との関わりを充実させ、楽しく通所できるように取り組んでいます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	46	1			・利用者一人ひとりの特性や成長に寄り添った療育を行い、より一層の支援を提供できるように精一杯務めています。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表日		年	月	日	事業所名		こぼんはうすさくら川崎幸教室	
		チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			14		・仕切りを作ったり、活動場所を工夫したりしながら環境設定をしている。	・トイレの数が足りない
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。			14		・子どもの状態や時間帯によって柔軟に対応している。	・送迎に出てしまうと職員が少なくなってしまう時間がある。余裕のある配置ができると良い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			14		・来所後、身辺自立から個別課題、そして自由遊びへと仕切りを活用しながら構造化されている。	・バリアフリーではないところは出来る限り改善していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。			14		・職員で声をかけあい、清潔かつ整理整頓に努めている。	・常に清潔で、整理整頓をしていきたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			14		・状況に応じて対応できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。			14			・今後も全職員に共有して取り組んでいきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			14		・全職員に評価表を開示し、改善点について話し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			14		・ミーティングや管理者との面談で意見を述べる機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				14		・第三者評価の実施について検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			14		・教室内や会社で企画する研修に積極的に参加している。	・様々な視点の研修に参加し、さらに質を向上させていきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			14		・子どもの特性や成長に沿って支援プログラムが作成され、保護者様と共有している。	・よりプログラムの適正化を図るためにフィードバックを行いながら充実させていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。			14		・児発管が定期的に面談して支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			14		・児発管が面談した内容をもとにカンファレンスを行い職員の意見を聞きながら作成した支援計画を、全職員が確認できるようになっている。	・より多くの意見を出し合う機会を作っていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			14		・作成された支援計画書を全職員で共有した上で支援できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			14		・フォーマルなアセスメントを参考にしながら、行動観察を行い状況確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			14		・具体的で明確な支援内容になるように設定している。	・設定された支援内容が本人や家族と共通理解の上ですめられるように、的確にお伝えできるようにしていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			14		・ミーティングの中にプログラム立案する時間を確保している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			14		・毎月新しいプログラムを開発したり、曜日に偏りが出ないように調整したりしている。	・さらに情報収集をして多様なプログラムが実施できるようにしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。			14		・組み合わせて支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			14		・朝と昼にミーティングを行い、支援内容や役割分担の確認を確実にしている。 ・子どもの特性や現在の状況についても確認と情報共有している。	・職員間でコミュニケーションを取り合い、チーム支援の士気を高めていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			14		・支援の振り返りを業務日報に記入することで共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			14		・記録をとり、支援につなげている。	・記録をとる視点や記録をもとに改善点を見出せるようにしていきたい。

切 な 支 援 の 提 供	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14		・ 児発管が定期的にモニタリングを行い、 見直しを行っている。 ・ 見直しの内容を職員に伝達している。	・ 見直しの内容が確実に全職員に周知でき るようにしていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	14			・ 新規職員にも伝えて活動できるようにし ていきたい。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	14		・ 自己選択、自己決定の場面を大切に捉 え、活動の中に仕組みで支援している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校 時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	14		・ 送迎時に学校職員と話し、本人の様子 や学校の情報を共有できるようにしてい る。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達 支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14			・ 必要に応じて情報共有ができるように連 携ができるようにしていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。		14	・ 現在対象者はいないため実施していな い。	・ 今後必要になった際は丁寧に情報共有し ていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	14		・ 療育センターへの訪問など、助言・指導 をいただく機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動 する機会があるか。		14	・ 公園で遊ぶ時に地域のお子さんがある際 は声かけをして交流の機会を作るようにし ている。	・ 今後交流できる機会を探っていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		14		・ 今後積極的に参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	14		・ H U Gや電話での連絡や、送迎時などに様 子を伝えるなど、日頃から情報共有・共通理 解ができるように心がけている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の 機会や情報提供等を行っているか。		14		・ 今後検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	14		・ 契約時に丁寧に説明をし、不明点がない ように心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の 意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、 こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14		・ 面談を通して本人や保護者様の意向を確 認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14		・ 書面で説明を行い、保護者様から直接サ インをいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や 必要な助言と支援を行っているか。	14		・ 相談があった場合には、期を逃さずその 都度応じ、支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		14		・ 保護者様の声を聞きながら検討してい きたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか。	14		・ 苦情があった場合には管理者を中心に迅 速で適切な対応をしている。	・ 確実に全職員に周知できるようにした い。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ り、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に 対して発信しているか。	14		・ 毎日のＳＮＳ、毎月の新聞などで活動の 様子等を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14		・ 鍵付きの書庫に管理している。	・ ＳＮＳ発信の際に個人情報の保護に留意 していきたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか。	14		・ 定期的な面談の他に送迎時に様子をお伝 えするなど意思疎通や情報伝達に努めてい る。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営 を図っているか。		14		・ 地域の方との交流ができるように検討し ていきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとと もに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14		・ マニュアルを策定し、研修を行ってい る。	・ ご家族への周知の方法について検討して いきたい。

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14		・毎月避難訓練を実施している。	・さまざまな災害に対応できるように、より多様な状況を想定し、訓練を重ねていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14		・保護者様と現在の状況について情報共有し、適切な対応ができるようにしている。	・全職員に確実に周知できるようにしたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14		・提供するおやつについて保護者と情報共有し、持ち込み等で対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14		・安全計画に基づいて点検や訓練、安全についての研修を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14			・取組について確実に周知できるようにその方法や時期を検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14		・ヒヤリハット事案を全職員に周知し、再発防止策について検討をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14		・虐待防止の研修を全職員が実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14		・保護者に了解を得て、計画に記載している。	